

答弁(市民生活部長)

現在三つの方法について検討している。一つ目は、鬼怒川西地区にある市の公共施設に、水海道地区と石下地区それぞれ自動交付機を設置する。

二つ目は、鬼怒川西地区にある市の公共施設において各種証明書の交付を行う。三つ目は、水海道地区と石下地区の郵便局と業務契約する。この中から、経費の問題や職員の配置、セキュリティ等の問題を考慮しながら、検討を進めていく。実施内容等によつては、職員の配置等も検討課題になると思われるので、来年4月実施に向けて、総合的に検討していきたい。

再質問

郵便局かまた別の施設どちらかにするということではないのか。具体的に聞きたい。どちらかに決定して、証明書類だけではなくて取り扱いの幅そういうものを考えて実行していただきたい。また、開始時期も分かるとありがたい。

再答弁(市長)

来年の4月1日から実施していきたいと考え、

指示している。具体的には、水海道地区、石下地区それぞれの西部地区にある公共施設でサービス提供ができる窓口をつくるよう指示している。具体的には、体育館あたりが想定されると思う。この方針でいけば、新たに箱物をつくることも、新たに人を採用することもないので、最低限の費用で対応できる。

再々質問

やはり取扱いの幅が広がったほうが良いと思う。私の9月の質問は、市役所の支所、出張所のようにサービスの幅が広がれ

介護保険について(一問一答)

石川 栄子議員

質問

①介護保険給付費について、今後どう見ているのかを尋ねる。

ここ数年、介護給付費が伸びている。その分皆さんが安心して介護が受けられるようになってきているのかと思うが、給付が伸びれば、保険料の値上げにはね返ってくる仕組みが問題である。保険料値上げの要因とな

ば良いと思っていたので、若干不満はあるが、一歩前進したということで、高く評価をしたい。(その他の質問)

○市長選・市議選の同時選挙について



る給付費の伸びについて、今後どう見ているのか。

②保険料の減免制度の拡充を求める。

保険料の40%近い値上げに伴う、不満や苦情等は何件くらいあったか。また、生活保護を受けていない、世帯所得80万円以下の第2段階の方は、値上げになった介護保険・後期高齢者保険料が天引きされ、医療も介護も

余裕がなくて使えないのではないかと思う。減免制度で救っていかないと生活が成り立たないのではないかと心配であり、減免制度の拡充を求める。

答弁(保健福祉部長)

①今後も給付費は増えると思うが、平成25年度に調査を行い、平成26年度の策定委員会で決定することになる。②減免制度の実施は考えていないが、保険料段階の区分を増やし、低所得者への軽減が図られるという措置を行った。保険料値上げに伴う苦情件数は161件である。

質問

第2段階の方は何人くらいいるのか。

答弁(介護長寿課長)

24年度で2078名である。

質問

大幅な値上げについて、不満や怒りの声が寄せられたと思うが、実際の生の声を聞きたい。

答弁(介護長寿課長)

収入が変わらないのに保険料が上がったという苦情が72件、年金天引きは止められないのかという苦情が12件、ほかに値

上げの事前通知がないのは不愉快であるというような苦情が寄せられている。

質問

第2段階の方々の生活状況を訪問などで具体的につかんでいるのか。

答弁(介護長寿課長)

徴収事務を行っており、直接訪問して事情を聴いているので、かなりの部分はつかんでいると思う。

質問

介護保険料の減免は必要だと思うが、市長の考えを聞きたい。

答弁(市長)

介護保険特別会計の財政も厳しく、介護保険に加入している市民全体の保険料負担のバランスを考慮すると、極めて慎重に考えていかなければならないと思う。

